

別記様式第1号

整理番号	
------	--

極端紫外光研究施設XMC D利用申請書（成果公開用）

年 月 日

分子科学研究所長 殿

申請者 所属先
 所 属 住 所 (〒)
 職 名 電 話 (内線)
 ふりがな E-mail
 氏 名 印 企業種別(*) 大企業 / 中小企業 / その他
 分野・業種等(*)
 *...下段の基準及び一覧選択すること

下記のとおり貴研究所の装置を有償利用したいので申請します。
 また、実施に当たって、万一の傷害等の保障に関しては、申請者と申請者の所属機関においてすべての責任を負えることを誓約します。

記

1. 課題名 :

2. 利用希望ビームライン及び吸収元素・吸収端 :
 XMCD (BL4B) 吸収元素・吸収端 : ~

3. 申請者及び共同利用研究者 : (週単位でご記入ください。例 : 0.5週、2.0週)

番 号	氏 名	所属・職名	備 考
申請者			
2			
3			
4			
5			

(5名以上の場合は、同様式で記入し、添付してください。その際、役割分担についても記述願います。)

4. 申請区分 (該当するものに○) : 通年 (4月~翌3月)、前期 (4月~9月)・後期 (10月~3月)

5. 希望マシンタイム : マルチバンチ () 週, シングルバンチ () 週
 XMCD装置は、火~金の4日間 (最大60時間) です。
 シングルバンチを必要とする場合は、その理由 :

6. 実施期間 第1希望 : 年 月 日 ~ 年 月 日
 第2希望 : 年 月 日 ~ 年 月 日
 第3希望 : 年 月 日 ~ 年 月 日

7. 希望実施期間以外に、どうしても不都合な期間がある場合にのみお書きください。

不都合な時期：.....年 月 日 ~年 月 日
.....年 月 日 ~年 月 日

8. 測定試料^(注)：.....(気体・液体・固体).....

9. 研究目的、研究内容及び実施計画

下記 a)~e) 各項目についてA4 2ページ程度に入る様に記述し、添付してください。

a) 研究の意義づけや独創性 (課題審査では、学術的重要性、UVSOR利用の妥当性、過去の論文発表状況を総合的に評価します。)

b) 今回の研究内容の具体的説明 (継続中の課題や以前に類似の課題申請がある場合、前回からの進捗状況や相違点を必ず明記。)

c) 実施計画と実験条件の詳細

d) 利用日数の見積り

e) 申請者が出版した本研究に関連する論文やActivity Reportのリスト

なお、技術的な問題については、予めビームライン担当者と相談してください。

10. 液体ヘリウムの利用の有無

有 (日/週 × 週) 無

11. 機器の利用希望： 有 無

ビームラインに常設の機器以外のものを希望する場合は、ビームライン担当者に確認してから記入してください。(チェンバー、クライオスタット、排気系などを含む。)

持込み機器の名称

12. 機器センター機器の利用希望

機器名 ミクロム FIB その他 ()

(注) 「放射線業務従事承認書」及び「実験試料・化学薬品の使用届」の提出を忘れないこと。

また、来所の際には、「実験試料・化学薬品の使用届」の写しを持参すること。

13. 不正防止に関する誓約

申請者及び分担者は、貴研究所の装置の有償利用にあたり、以下のガイドライン等を理解し、これらのガイドライン・方針・規程、自身が所属する機関の規則、関連する法令等を遵守し、研究活動における特定不正行為(捏造、改ざん、盗用)、及びそれ以外の不正行為(不適切なオーサーシップ、二重投稿等)を行いません。

(1) 研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン(平成26年8月26日文科
科学大臣決定)

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/08/_icsFiles/afieldfile/2014/08/26/1351568_02_1.pdf

(2) 大学共同利用機関法人自然科学研究機構研究活動上の不正行為を防止するための基本方針
(平成20年2月28日決定)

<https://www.nins.jp/site/rule/1024.html>

(3) 大学共同利用機関法人自然科学研究機構における研究活動上の不正行為への対応に関する規
程(平成20年2月28日自機規程第74号)

<https://www.nins.jp/uploaded/attachment/3157.pdf>

以上について、誓約する場合はチェックを入れてください。

誓約します。

14. 安全管理に関する誓約

申請者及び分担者は、貴研究所の装置の有償利用にあたり、分子科学研究所安全ガイド (<https://www.ims.ac.jp/guide/safetyguide.pdf>) を理解し、これらのガイドライン、自身が所属する機関の規則、労働安全衛生法等の関連する法令等を遵守し、安全と環境を常に意識しながら、研究活動における事故・災害の発生防止に努めます。

以上について、誓約する場合はチェックを入れてください。

誓約します。

上記の装置利用の申込みを承認する。

所 属 :

職 名 :

氏 名 :

印

上記は、申請者が本研究所に来所し実験等を行うことを承認できる方の所属、職名及び氏名(申請者本人は不可)を記入の上、捺印ください。

記載
不要

施設長	担当者

【企業種別基準】

大企業 資本金3億円以上または従業員300人以上のどちらかに該当するもの

中小企業 資本金3億円以上または従業員300人以上のどちらにも該当しないもの

その他 上記に該当しないもの

【分野・業種等一覧】

1 有機材料 / 2 電子・磁性・金属・無機材料 / 3 繊維・窯業・紙・パルプ / 4 食品・飲料 /
5 化粧品・トイレタリー / 6 医療・医薬品 / 7 精密機器・産業機械製造業 / 8 医療機器製造業 /
9 分析・計測機器 / 10 電気・電子機器・総合電機 / 11 半導体・電子部品製造業 / 12 自動車・輸送・運輸機器・部品製造業 / 13 鉄鋼・非鉄金属製造業 / 14 商社・代理店・流通・小売業 / 15 電力・ガス・石油・その他エネルギー / 16 建設・不動産 / 17 情報・通信 / 18 金融・投資・コンサルティング / 19 シンクタンク / 20 水産・農林・鉱業 / 21 報道・メディア・出版 / 22 外国公館・機関・団体 / 23 官公庁・自治体・地方公共団体 / 24 教育・研究機関 / 25 その他